



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2014年(平成26年)7月15日号 No.1633

目次

| | |
|--|---------|
| ■ ロシア極東の新型特区 | 齋藤 大輔 1 |
| 一 最終候補地と優遇支援の内容一 | |
| ■ モスクワほっとニュース | 8 |
| 『Japan's Brand Book : Icons of Japan』の刊行／8 | |
| ■ 統計速報 | 9 |
| 2014年1～6月のロシアのブランド別乗用車販売台数／9 | |
| ■ エトセトラ | 10 |
| 「カザフスタン原子カミニ・プレゼンテーション」のご案内／10 | |
| 「タジキスタン投資プレゼンテーション」のご案内／10 | |
| ■ トピックス | 10 |
| ポーラがロシアで抗加齢化粧品発売へ／10 | |
| 商船三井、砕氷船でロシア産LNG輸送／10 | |
| 近鉄エクスプレスのペテルブルグ倉庫が開設／11 | |
| ダイードリンコの自動販売機がモスクワに／11 | |

ロシア極東の新型特区 一 最終候補地と優遇支援の内容一

ロシアNIS経済研究所 主任
齋藤 大輔

はじめに

ロシア極東発展省は、地域を絞って大胆な優遇税制と規制緩和を導入して国内外から投資を呼び込み、アジア太平洋への輸出拡大によって経済成長に結びつける新型特区(先進経済発展区)について、沿海地方のザルビノやアムール州のペロゴルスクなど14カ所に絞り込んだ。今回は最終候補地14カ所と検討中の新規参入企業に対する優遇税制・規制緩和の内容について紹介する。

最終候補地 14カ所

ガルシカ大臣が6月23日、ウラジオストクでの会議で明らかにした。ザルビノやハバロフスク地方のワニノソフガワニはロジスティクス中心の特区とするほか、ラトキノエ(ハバロフスク地方)やナデジェチンスキー(沿海地方)などは工業生産、ミハイロフスキー(沿海地方)やエカテリーナスラフカ(アムール州)、スミドヴィチスキー(ユダヤ自治州)は農業の特区に選んだ。新規参入企業への法人税や資産税の免除や保険料の減免などを盛り込んだ税制支援、さらには行政手続きの簡素化などを盛り